

海員春闘・大衆討議
ハートランドフェリー / 羽幌沿海フェリー意見集約

ハートランドフェリー・大衆討議

1月9日、宗谷地方の暴風雪警報により、稚内港発のハートランドフェリーは全便欠航となった。この日は業務を妨げないよう、係船中の「アマポーラ宗谷」でハートランドフェリーの組合員に大衆討議を行い、要求案に対する意見集約を図った。

執行部からは今年度労働協約改定にあたり、要求案の説明を行い、現場組合員からは▽役職者の職務手当の改善▽海技免状受有者で未昇格の者へ手当新設▽機関部員の待遇改善を求める▽ホテル宿泊費高騰の対策および日当金額引上げなど。その他では、▽年金支給開始年齢以降の再雇用について協議してもいいのではないかの発言があった。

羽幌沿海フェリー・大衆討議

1月11日、羽幌沿海フェリーターミナル2階会議室で一年の航海安全を祈願する「船靈祭」が行われ、羽幌神社宮司の祝詞奏上の後に「おろろん2」乗組員7人が二札二拍手一札し玉串奉納を行った。

澤田東船長は「冬の日本海は時化で欠航となる日が多い。船旅の安全と生活物資の安定輸送を一致協力して達成したい」と抱負を語った。

「船靈祭」終了後、フェリー「おろろん2」の船員食堂に集合し、執行部から令和7年度労働協約改定要求案について、今年度の基本給改定要求と個別の反復要求などについて説明し、現場組合員からは、労働条件向上を目指してほしい▽定年年齢60歳への引き上げ▽定年後の経験加給の実施▽食料金について▽年間臨時手当を含めた年収アップについてなどの意見があり、大衆討議を終えた。

「海員だより」